

SEKISUI ハトプロテクター施工手順書

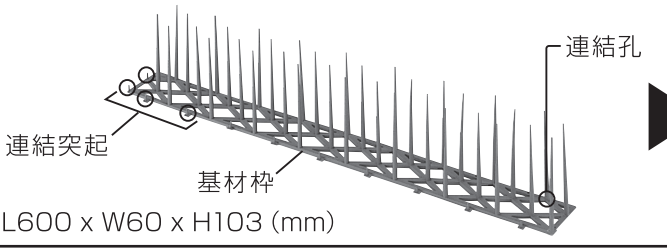
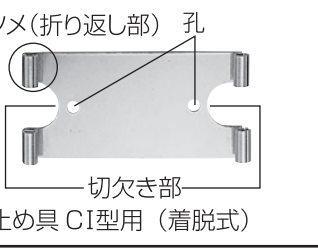
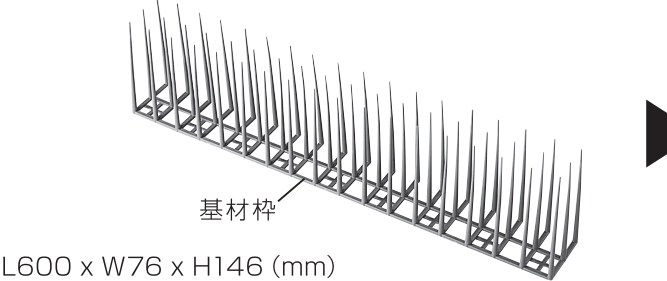
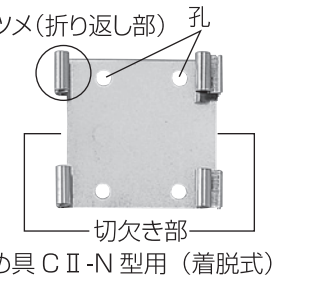
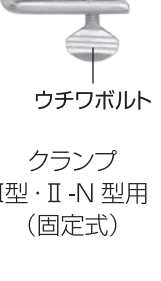
この度は、セキスイ「ハトプロテクター」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本紙では、本製品を設置する際の手順および注意事項を記載しております。設置前には必ずお読みください。

設置作業のまえに ー必ずお読みくださいー	
⚠ 警告 < 重大なケガや破損の原因となります > ・本製品の設置は高所作業が伴うため大変危険です。 施工時は必ず最寄りの施工業者にご相談ください。 ・強度の不足する場所や不安定な場所に設置しないでください。設置の前に必ず設置面を清掃し、乾燥させてください。設置不良による落下の原因となります。 ・設置する際、本製品と止め具や工具等の落下には十分注意して作業してください。 ・足場の悪い場所での設置作業は行わないでください。 ・雨や強風等の悪天候の際は、危険ですので設置作業を行わないでください。 ・施工の際に鳥（ハト等）や動物が飛び出してくるおそれがあります。周囲の安全を確保してから作業してください。 ・本製品はポリプロピレン製のため、直接接着剤を塗布しての設置はお避けください。落下事故の原因となります。接着剤を使用する際は、必ず専用止め具の裏面に塗布して設置してください。 ・本製品の上に乗ったり、ものを置かないでください。	⚠ 注意 < ケガや破損の原因となります > ・本製品の先端はとがっているため危険です。みだりに振り回したり投げたりしないでください。 ・本製品の切断などの加工や施工時に、保護メガネと作業用手袋を着用し作業をしてください。本製品と止め具や工具などで手や指を切ったり挟んだり、しないよう注意してください。 ・本製品と止め具や工具等を、床の上に置きっぱなしにしないでください。転倒などの事故につながるおそれがあります。 ・小さなお子様の手に届かない場所での使用と保管をしてください。設置後は不用意に触らないようにしてください。 ・本製品が変形するおそれがあるため、火のそばや高温になる場所での使用はしないでください。 ・本製品を曲げすぎる（R125 以下）と、製品に亀裂が発生しケガをするおそれがあります。 ・施工後も定期的にきちんと設置されているか、止め具が外れていないか確認してください。 ・使用中に不具合が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。 ・ハトよけ以外の用途には使用しないでください。

1 設置のながれ

1. 屋によくハトが止まる場所、および夜ねぐらにしている場所を確認し、設置場所を決めます。
※ハトのフンが落ちていているところを調べ、その上の部分（屋根等）には必ず設置するようにします。
※環境（巣をつくってしまった後）などにより、効果が得られない場合がございます。ご了承ください。
2. 設置場所のフン・ゴミ・ほこり等を掃除します。
3. 設置場所に適した止め具を選定し、ハトプロテクターに装着します。
※固定方法に応じて接着剤（止め具 C 取り付け場所の素材に適した接着剤）・釘打ち用の釘・クランプをご準備ください。
4. 設置場所に固定します。

2 本体と止め具の組み合わせについて

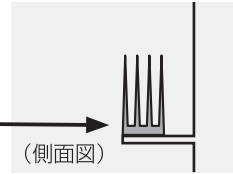
	本体形状	取り付け場所	
		コンクリート 金属 各種ボード等	H 型鋼 C 型鋼
I 型	 連結突起 基材枠 L600 x W60 x H103 (mm)	 ツメ(折り返し部) 孔 切欠き部 止め具 C I型用 (着脱式)	 中央孔 ウチワボルト
II-N 型	 基材枠 L600 x W76 x H146 (mm)	 ツメ(折り返し部) 孔 切欠き部 止め具 C II-N 型用 (着脱式)	 クランプ I型・II-N 型用 (固定式)

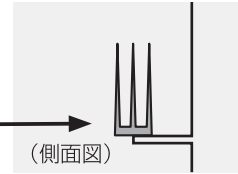
- 止め具は、本体1個につき2個以上使用します。
- 止め具は、ハトプロテクター本体には含まれないものもあります。右記の表を確認のうえ別途お買い求めください。

材質	品番	品名	本体 入数	止め具 入数	封入止め具 仕様	エコマーク 認定
PP	HPMH	ハトプロテクターI型	60 個	—	—	×
PP	HPM2NH	ハトプロテクターII-N 型	48 個	—	—	×
再生 PP	HPE1H	ハトプロテクター Eco I型	60 個	—	—	○
再生 PP	HPE1H8	ハトプロテクター Eco I型 8 個入り止め具セット	8 個	18 個	止め具 C I型用 (着脱式)	○
再生 PP	HPE2H	ハトプロテクター Eco II-N 型	48 個	—	—	○
再生 PP	HPE2H8	ハトプロテクター Eco II-N 型 8 個入り止め具セット	8 個	18 個	止め具 C II-N 型用 (着脱式)	○
SUS301	HPTC	ハトプロテクター止め具 C I型用 (着脱式)	—	120 個	止め具 C I型用 (着脱式)	—
SUS301	HPTC2N	ハトプロテクター止め具 C II-N 型用 (着脱式)	—	100 個	止め具 C II-N 型用 (着脱式)	—
本体 :SPPC ボルト :SWCH	HPC	ハトプロテクタークランプ I型・II-N 型共用 (固定式)	—	100 個	クランプI型・II-N 型共用 (固定式)	—

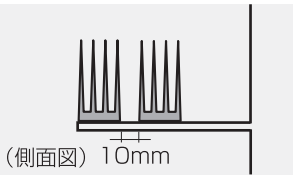
3 ハトプロテクターの基本配置について

- (1) 本体は、ハトが飛来する側に並べます。

I 型
本体連結孔側を
ハトの飛来する方にします。

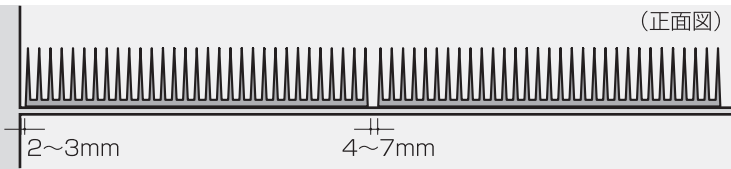
II-N 型
本体基材枠のない側を
ハトの飛来する方にします。

- (2) 奥行きが広い場合は、2列、3列と平行に並べます。


(側面図) 10mm
列間隔は、約 10mm とします。

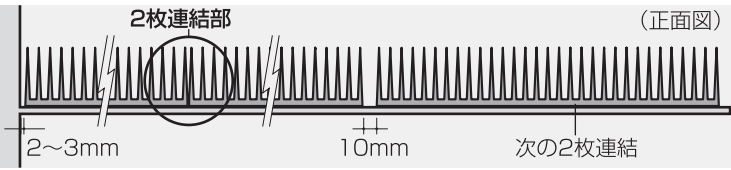
- (3) 並べて設置する際は、間隔をあけてください。

- ・1枚ずつ並べる場合（連結無し）


(正面図)
2~3mm 4~7mm

本体を並べ始める時は、建物より2～3mm 離して取り付け、本体間は4～7mmの間隔をとってください。

- ・2枚連結して並べる場合


(正面図)
2枚連結部 10mm 次の2枚連結
2~3mm

2枚連結して本体を使用する時は、次の2枚連結との間に約10mmの間隔をとってください。
※3枚以上連結して使用しないでください。

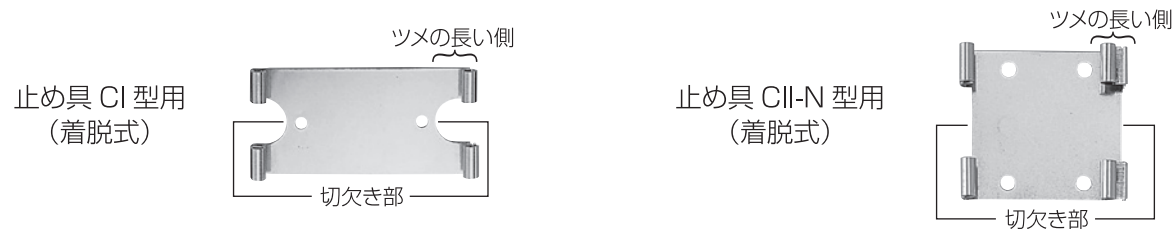
- ハトプロテクターはプラスチック製のため、直射日光等の影響により熱膨張します。
そのため、並べて設置する際には上記の間隔を目安に設置してください。

4 固定手順

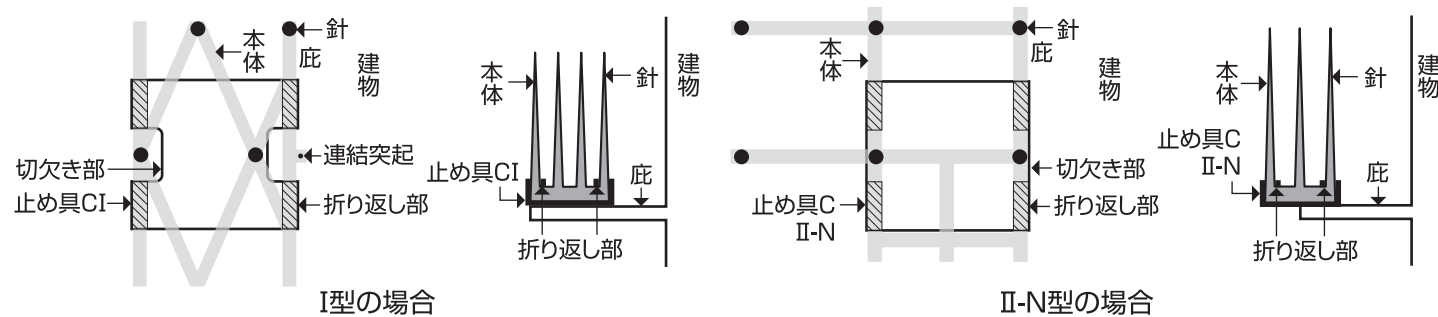
止め具 C I、C II-N

〈接着剤による施工 ―コンクリート・金属・各種ボードなど―

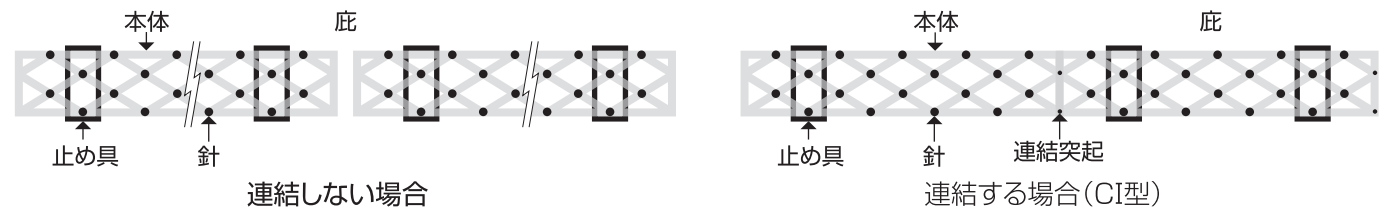
1. 止め具の切欠き部（ツメの長い側）を、C Iは連結孔のない側に、C II-N は基材枠のない側に合わせ、ツメを本体基材枠にはめ込みます。



2. もう片方のツメを、C Iは連結孔側に、C II-N は基材枠のある側に合わせ、本体にはめ込みます。
※止め具と本体に余裕を持たせます。（はめ込んででも止め具がスライドできるようにしてください。）



3. 止め具は本体1個につき、2個以上使用します。

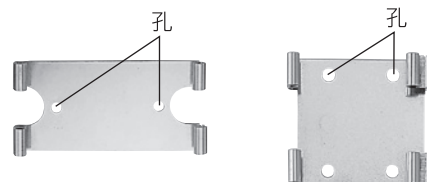


4. 止め具（裏面）に接着剤を塗布します。
※接着剤は、被着体（庇やH型鋼など）の材質に合わせたものを選定してください。

5. 前述の「③ハトプロテクターの基本配置について」に従って、ハトプロテクターを設置面に押圧して、接着固定します。

〈釘打ちによる施工 ―コンクリート・各種ボードなど―

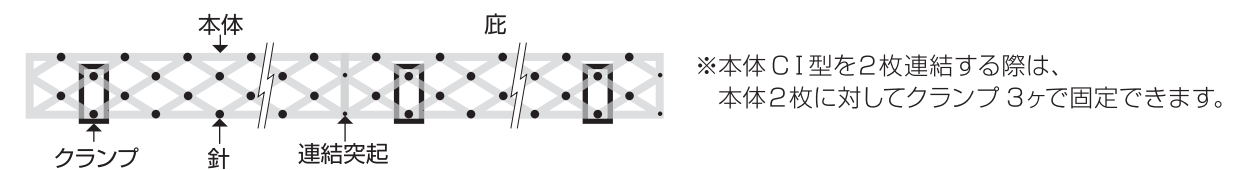
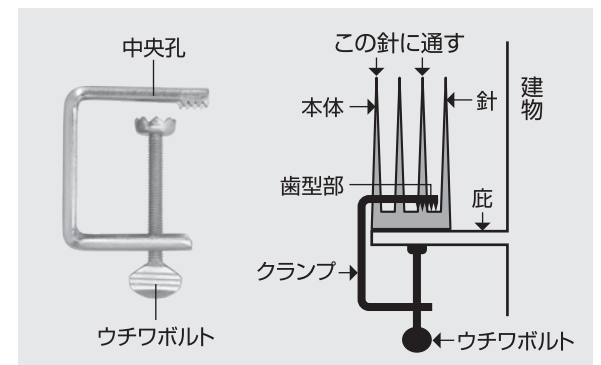
1. 接着剤による施工と同様に、止め具を本体にはめ込みます。
2. 止め具の孔に釘をハンマーにて打ち込み、設置面に固定します。



クランプ

〈クランプによる施工 ―H型鋼・C型鋼など―

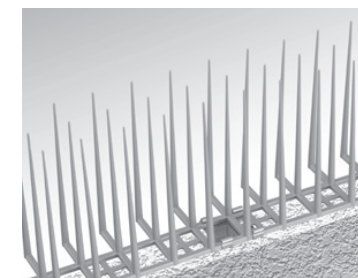
1. クランプのウチワボルトをゆるめて間隔を広げます。
2. クランプの中央孔に本体の内側針を通します。
3. クランプの歯型部とウチワボルトの間に被着体（H型鋼など）を挟み込みます。
4. クランプのウチワボルトを締め上げて被着体に固定します。
※被着体（H型鋼などの鋼材や庇等）の厚みは35mm以内です。



5 設置例



ハトプロテクターI型 + 止め具 C I



ハトプロテクターII-N型 + 止め具 C II-N



ハトプロテクターI型 + クランプ

6 廃棄について

- ・ハトプロテクターを廃棄するときは、必ずハトプロテクターに嵌っている止め具を外し、分離分別してください。
- ・廃棄するときは専門業者へ依頼するか、各自治体のルールに従って廃棄ください。

・ハト（ドバト）について
鳥獣保護法により野生のハトの捕獲や、卵やヒナがいる巣の排除は禁止されています。しかし、生活環境への被害が著しい場合は、有害鳥獣捕獲の手続きをとって卵やヒナごと巣を排除することも可能です。詳しくは、お住まいの市町村の担当課にご相談ください。

・足環（リング）の付いたドバトを見つけたら
書かれている文字が「JPN=（社）日本鳩レース協会」「NIPPON=（社）日本伝書鳩協会」のハトです。それぞれの事務所にお問い合わせください。
（社）日本鳩レース協会【JPN】 TEL 0120-810-118 / （社）日本伝書鳩協会【NIPPON】 TEL 03-3801-2789

ハトにエサをやらないで!

ハトはエサがたくさんあると栄養状態がよくなり、過剰に繁殖をします。エサをやらずに見守ってあげましょう。



積水テクノ成型株式会社

産業用品事業部 産業用品営業部
<http://sekisui-techno-molding.jp>

東日本 〒105-8566 東京都港区虎ノ門 2-10-4 (オークラプレステージタワー 21F)
TEL.03 (6626) 2749 FAX.03 (6626) 2751

中部・西日本 〒530-8565 大阪市北区西天満 2-4-4 (堂島関電ビル 5F)
TEL.06 (6365) 5472 FAX.06 (6365) 4667

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

<販売代理店>お問い合わせはこちらまで